

いずれかに該当し、市町村教育委員会が推薦する者

- ① 市町村における社会教育指導員又は婦人教育指導員
- ② 市町村教育委員会事務局及び公民館職員のうち、中堅層として今後の活躍を期待される者
- ③ 婦人学級・婦人団体・職場等のリーダーとして、現在並びに今後の婦人教育活動の推進が期待され、地域からも信頼のある者
- ④ 昭和47年度～59年度において、すでに本研修を終了し地域で実践活動を展開している者は、各教育事務所ごとのブロック研修のみに参加のこと

(5) 内容・時間

- ① 基本研修……20時間
 - ア 婦人教育指導者としての資質向上に関すること
 - イ 地域における婦人教育活動の課題に関すること
 - ウ 会議、広報紙、レクリエーション等の実技
- ② 専門研修……20時間
 - ア 婦人学級生コース
 - イ 婦人団体会員コース
 - ウ 婦人教育関係職員コース

(6) 研修方法

- ① 講義
 - ア 就労婦人の現状と課題
 - イ 婦人教育リーダーとして
 - ウ 婦人のライフサイクルと生涯教育
 - エ 国連婦人の十年、最終年にあたって
 - オ 婦人の生き方と生活設計
 - カ 家庭教育について
 - キ 婦人教育の課題とホームワークの進め方
- ② コース別学習
 - ア 婦人の学習・活動年間計画の作成
- ③ 研究協議
 - ア 地域における婦人教育活動の現状と課題
 - イ 婦人の社会参加の現状と課題
 - ウ 県内婦人のかかえている問題傾向
 - エ これからの婦人の学習活動のあり方
- ④ 演習及び実技研修
 - ア 読みやすい広報紙のつくり方
 - イ レクリエーションの理論と実際
- ⑤ 実践発表と情報交換
 - ア 婦人教育指導者研修修了生の活動例
 - イ 県内婦人の問題傾向
- ⑥ ホームワーク
 - ア 婦人の学習要求と婦人の生活課題調査

9 県婦人教育指導員の設置

(1) 趣 旨

婦人教育の重要性にかんがみ、各教育事務所に婦人教育指導員を置き、市町村における婦人教育指導員並びに婦人団体の健全育成の指導助言にあたり、婦人教育の振興に資する。

(2) 昭和60年度婦人教育指導員名簿

管内	氏 名	住 所
県北	紺野 信子	伊達郡川俣町大字鶴沢字下中島5-5
	油井 律子	伊達郡桑折町字桑島3-4-1
	田村 キミ	二本松市榎戸1丁目313-6
県中	倉嶋 てる子	郡山市富久山町堂坂140-2
	蓬田 敏子	須賀川市南町176
	大賀 洋子	石川郡石川町大字双里字本宮54-1
県南	白岩 博子	田村郡常葉町大字常葉字内町48
	戸田 アイ子	西白河郡大信村大字中新城字杉の前141
	村越 佐知子	東白川郡棚倉町関口字愛宕139-3
会津	藤村 レイ子	会津若松市宮町8-46
	池田 京子	喜多方市字町田8330
	大堀 千枝子	大沼郡会津高田町字高田甲2667
南会津	目黒 永子	南会津郡只見町大字只見字原614
相双	木幡 八重子	相馬郡小高町上町1-50
	吉田 琴路	双葉郡富岡町上郡山字清水45
いわき	高橋 昌江	いわき市市中平窪字細田15
	酒井 秀子	いわき市常磐下船尾町歌川17

10 婦人教育関係事業

(1) 第37回福島県婦人大会（福島県婦人団体連合会主催）

- ① 趣 旨
 - ア 心豊かな地域づくりを進める上での婦人会の果たす役割について確認し合い、21世紀に向けて質・量ともに充実した活動のあり方を考察し、婦人の主体性の確立と組織の充実に努める。
- ② 期 日 昭和60年10月19日(出)
- ③ 会 場 二本松市民会館
- ④ 参 加 者 婦人会員 1,350人
- ⑤ 内 容
 - ア 主 題
 - ふれ合いの輪を広めよう
 - 健康で心豊かな地域づくりのために
 - イ 実践発表
 - (ア) 就労婦人と婦人会活動（会津）
 - (イ) 会員増強方策——新しい婦人会の誕生（県中）
 - (ウ) 我が町の特産品こんにやく利用の拡大をめざして（県南）
 - ウ 講 演
 - (ア) 演 題 女たちのゆくえ
 - (イ) 講 師 東洋大学教授 神田 道子

(2) 昭和60年度婦人研修のつどい（県婦人会館事業）

- ① 趣 旨
 - ア 人生50年から80年への移行や、高度情報化等の社会の進行は、個人・集団を問わずいろいろの変化を生じさせつつある。このときにあたり「心豊かな地域づくりと団体活動」を主テーマとして学習をすすめ、今日的社会の諸問題を協議し地域の推進力としての資質を養成する。
- ② 期 日 昭和60年8月27日(火)～28日(水) 1泊2日